(22)



復元屋

壁がタイル仕上げのマ通称「カカシ」と呼来さんだ。

から必ずと言っていい けている果のデザイン ン、事務所に帰って確言する。

。葉

「おそらく某社の窯る予定となった。

极

ほど声がかかる会社がタイルが張られてい。認したところ推察した

知県、赤井祐仁社長) ら20枚を剝がし、1-枚 判明、金型もあった。

低

大規模修繕工事で外行した。

東京駅丸の内駅舎に

代表される歴史的建造

物のタイルの修復・復 元で知られる、女イル 復元のスペシャリスト

集団である。大正以年

のグループで、長い歴

会社である。

創業したアカイタイル を施工会社に渡し、も

て高い技術力をバック で焼いたと思われる

Nº

現場調査の専門スタッフの指示でタイル採取

19月中旬、大規模修 がないとなると当社で 繕工事が来年早々に始 金型から製作する必要

納入が可能だが、金型にある。

こう話すのは、復元き上げた窯元はほぼ特

前田さんによれば 「外壁に張られたタイ ルを見ればタイルを既

にタイルの補修・復元が、そこに金型があればこの自社専門スタッ に特化して設立されたば、その窯元で焼いてフによる「現場採取」計事務所や施工会社のすばかりだ。

情度・品質で受注増

復元屋の最大の特徴納品も2色だった。

2色のタイルを採取、 見本焼きのために設わる同社への期待は増

ろ1枚を持ち帰った。 焼きが出来上がってく 元屋では「濃」「淡」 はマンションの「顔」

復元屋では東京・神 奈川・干葉・埼玉およ い、見本焼きも無料で 製作してくれる。 い月の下旬には見本の難しいタイルだ。復 外壁タイルの「色」

屋関東営業所の前田文 定できる」という。 スタッフが採取する 「分からなければ専門と、ほぼ1色のタイル ンションだと施工会社ばれる四隅が微妙に欠 この道の年のベテラ家とはいえない」と断しか「採取」しなり、 という。1角の女イル 採取にもノウハウがで納品すると、施工後 ある。復元屋(本社愛 た。目立たない箇所か 窯元で製造したものと ある。例えば、左下の に「色が違う」とのク 写真だ。素人では判断レームが発生しかねな

完成したタイルは自社倉庫で管理・維持

補修